

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	令和８年度生成ＡＩと深層学習を活用した斜面災害リスク評価および統合監視プラットフォームの開発
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 近畿地方整備局長 齋藤 博之 大阪府大阪市中央区大手前３丁目１番４１号 大手前合同庁舎
契 約 締 結 日	令和　８年　６月１１日
契約の相手方の氏名及び住所	国立大学法人　京都大学
契約金額 （消費税及び地方消費税含む）	¥４３，６４９，３２０－
予定価格 （消費税及び地方消費税含む）	
随意契約によることとした理由	本件は、ＡＩ技術を活用し、潜在的な災害危険個所の特定手法を確立や、多角的な実験を通じて地表面傾斜計の性能評価を行い、実際の計測データから警戒レベル管理基準値を設定することで、従来型ＡＩと生成ＡＩを駆使して斜面災害の予測、検知、対応の統合監視プラットフォームを開発するものである。 本委託研究については、国土交通省道路局により設置された学識経験者等からなる新道路技術会議において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、令和７年３月に開催された第５３回新道路技術会議において採択されており、中間評価結果においても本研究を引き続き進めることによる成果が期待されている。 以上のことから、当該研究を提案した上記の者と契約を行うものである。
備　　考	